

オコポ：興味、趣味、人気、考え方 期末レポート

1995年、東京のゲームフリークという会社がポケットモンスター（「ポケモン」）というゲームを作りました。動物の種類が151匹で有名なゲームです。しばらくして、アメリカでも発売され始めました。けれども、アメリカに比べて、日本のほうがポケモンに興味がある人や趣味でする人、詳しく知っている人、ポケモンセンターという店、ポケモングッズ、イベント、大会、映画、テレビの番組、読み物（雑誌やガイドブック、本、漫画など）などが多いです。例えば、アメリカで、新しいポケモンゲームが発売されたら、ガイドブックが一冊だけ売れていますが、日本では、ポケモンゲームを一つにつき、ガイドブックが四冊も同時に発売されます。その上に、五年前に、アメリカでポケモンセンターが一軒ありましたが、今ではありません。でも、日本では、ポケモンセンターがまだ六軒あります。どうして、ポケモンは特に日本で人気があるか分かるために、アンケートと非公式のインタビューと電子メールの文通と「オコポ」というまとめで調べておきました。

その質問の本当の解答について調べる前に、自分で仮説を証明しました。四つの理由だと思っていました。まず、日本よりアメリカのほうがどこでもインターネットが見つけやすいと思っていました。つまり、日本には、電車の中とか学校でとかインターネットが少ない所でならゲームをやります。それで、インターネットを使ったら、家族がたいてい規則もあるし、ニンテンドウWiiとDSのゲームを友達とする前に友達からフレンドコードをもらわなければならないし、長い時間でゲームやパソコンの前で座る事もできないと思っていました。

次の理由は「かわいい文化」です。なんとなく日本ほどかわいい物とかわいい動物が好きな人が多いと思っていました。ディズニーやスジー・ズーやポケモンのキーチェーンを鞆や携帯に付けている女の子も多いし、日本ではかわいいイメージは人気がありそうです。他の国の男の人は強いイメージを見せたがっているので、子供以外にあまり人気ではありません。ゲームは、その人気がある文化を反映します。

次は、家族の価値観でした。経験によって、たいてい日本の家族は教育と安全を大切にしているそうです。日本人のお母さんは保守的で、お子様に頭や生活や価値観に悪いゲームをやらさないでほしがっています。ですから、両親は、友達とやれるゲームや時間がかかりすぎないゲームや残酷ではないゲームや頭（創造や戦略）を使うゲームなら子供にさせてあげます。

最後に、「お宅文化」という理由を考えました。日本人は戦略と創造を使うゲームに興味がありますが、特にとても上手になれるゲームや深くて複雑で詳しく知っている用に慣れるゲームに関心を持っているそうです。例えば、ポケモンの種類が492匹あるから、全部集めなければならないし、それでトーナメントでよく使われる戦略やポケモンの技もよく分かる人が多いと思っていました。そんな複雑なゲームは、「お宅」という取り付かれる人にとっても楽しいので、やる気が出させます。

仮説を確認するために、カジュアルなプレイヤーとハードコアなエキスパートもアンケートを回収しました。詳しく知らない人に配りました：クラスメートや食堂で会った同志社大学生や日本語の先生です。それから、特にポケモンに興味がある人です：ポケモンセンターのお客様やポケモングッズを集める人や昔（子供のころ）したことがある大学生です。最後に、大会に挑戦したことがある選手にアンケートを回収しました。

アンケート以外に、ポケモン会社を書いた「オコポ」というまとめを読んでおきました。インターネットのウェブサイトや非公式の会話も使いました。

アンケートと「オコポ」によると、私の答えは大部分正しいそうです。でも、ポケモンが好きな理由は、プレイヤーの年とゲームの理解の深さによって違います。ポケモンが日本で人気があるのは、「イメージ」と「オコポ」と「エボリューション」で色々な楽しみ方あるからです。大切な要素が三つあります。

「イメージ」という意味は、ポケモンのキャラクターを見ると、直ぐにポケモンだか分かることです。「かわいい文化」と同じような意味です。アンケートに答えた人は、たいていポケモンを聞くと、ピカチュウとかわいい動物を連想すると言っていました。それで、小学校の時ポケモンをやった人は、今でも、ポケモンのかわいい品物を買って、バックパックや携帯に付けます。でも、「イメージ」という意味はかわいい物だけではありません。色々なポケモンらしいスタイルが流行しています。例えば、オリジナルの151匹も懐かしいので、今ではポケモンをもうやっていない人の間でもとても人気があります。それから、選手と男の人は、強そうなポケモンがかわいくなくても、好きです。親の話では、ポケモンが子供にポケモンをさせてあげるのは、残酷と乱暴のイメージがないからだそうです。つまり、イメージは、人によって違いますが、イメージはみんなにとっても重要な理由です。

「オコポ」という意味は、親が子供とポケモンを一緒にすることです。「家族の価値観」と同じような意味です。「オコポ」というまとめによれば、ポケモンをやる子供の親の中で、だいたい67%が子供とポケモンゲームかカードを一緒にするそうです。親にとって、一緒にポケモンをしてあげるのは、ゲームのキャラクターがかわいくて個性的だし、子供の友達もポケモンが好きだし、バトルも楽しいし、病院でもポケモンで

楽しめるし、それにポケモンが親子のコミュニケーションを豊かにするからです。というのは、ポケモンについて話している時に、子供がうれしくなって、たくさん習ったりしゃべったり楽しんだりするのではないのでしょうか。例えば、水木の家族は、子供がポケモンからひらがなとカタカナの書き方を学んで、その時からいい思い出がありました。つまり、ポケモンが子供と親の間で人気があるのは、ゲームがいい家族生活を円滑にするからです。コミュニケーションの道具、友達との趣味、家族との話題、などからです。

最後に、「エボリューション」という意味は、ポケモンの進化だけではなくて、プレイヤーの成長です。ポケモンをやる子供が年を取って、ポケモンの意味とポケモンを連想させる事が変わる事です。たいてい、子供は、ポケモンを育てるのが好きなんです。が、ままレベルアップする事がつまらないと思っています。ですから、お父さんにレベルアップをしてもらって、お父さんから複雑な戦略と強いポケモンの育て方を習えます。子供の時、戦略の詳細を詳しく分からないものですが、年を取ったら、数学や確率が分かるようになると、ポケモンの戦略も分かるようになります。次の効果は、人と家族によって色々です。バトルが大好きな子供は、高校の時から、勝負の大会に参加したり、ポケモンセンターで他の人に挑戦したりしています。でも、ゲームを詳しく知らない人もいます。その人は、ポケモンを見ると、懐かしくなります。最初の151匹が一番よく連想します。今でも覚えているので、ゲームをやめてもポケモンの情報と興味はまだ記憶で持っています。最後に、ゲームをやめないでカジュアルなプレイヤーもいます。詳しく分かる時間とやる気もないし、ポケモンセンターでアルバイトしたり、友達とポケモンの買い物をしたり、時々ゲームをしたりしてばかりいます。

日本でポケモンが人気があるのは、要素と好きな理由も多いからです。親と子供は、教育と価値観のためにやり始めますが、年を取ったら、ポケモンが好きな理由はあ

る程度進化します。年を取ったプレイヤーは、好きな理由で本当に違います。例えば、勝負にふける人の間で、ポケモンのために学校をやめる男の人と勉強しない大学生もいます。でも、大学で一生懸命勉強している人もいます。ポケモンをやる時間がなくても、かわいい流行とポケモンの商品に興味があるからです。ポケモンの物だけ知っている人もいます。ゲームフリークで働いているプランナーとプログラマーは選手の上位にランクされるものですが、ポケモン会社はそんなに詳しく分からない人の上位にランクされます。ですから、ポケモンが好きな人は、ポケモンの492の種類みたいに色々います。けれども、みんなが、他のポケモン好きな人に会ったら、あんもく直ぐに友達ができます。人の年も経歴も好きな理由を知らないで、ポケモンでコミュニケーションや話ができます。アメリカに比べて、日本の詳しく知っている学校をやめた人々のグループは別に違いませんが、かわいい物が好きな女の人や親とポケモンで成長した子供はアメリカより多いです。だから、アメリカより人気があるのは、色々なグループがないからです。バトルに耽る人は両方いますが、「イメージ」と「オコポ」でポケモンが好きな人はアメリカに少ないです。

その結果を習ったら、私のポケモンが好きな理由をよく映して、考えました。バトルの戦略と大会の競争が一番好きでしたが、日本人の色々なやり方を考えれば考えるほど、かわいいイメージと幸せな家族のやり方が私に一番大切になってきました。つまり、競争は、まだ私に楽しいですが、楽しみを永遠に延ばす事がみんなにそんなに幸せじゃないと思うから、もっと心と生活にいいやり方のほうが好きになってきました。

参考書目

ポケモンのアンケート (50人)

「オコポ?」. ポケモン会社 (The Pokemon Company) , 2009.

同志社大学生と非公式のインタビュー

ポケモンの選手と電子メールの文通

The Pokémon Company: <http://www.pokemon.co.jp/corporate/>

Game Freak: <http://www.gamefreak.co.jp/>

Creatures: <http://www.creatures.co.jp/>

Pokémon Official Website (JP): <http://www.pokemon.co.jp/>

Pokémon Official Website (NA): <http://www.pokemon.com/>